

令和3年11月29日

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和3年度上期（4～9月）決算についてお知らせします。

今期は、前年同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、輸送人員、営業収入とも伸び悩み、厳しい経営環境となりました。

■輸送人員 55万5,326人

（対前年比68.6%の増、令和元年比4.3%の減）

■営業収益 1億808万9千円

（対前年比21.1%の増、令和元年比26.3%の減）

1 概要

（輸送人員）

上期の輸送人員については、通勤定期は、9万6,968人で、前年に比べ2.2%増加しましたが、開業以来過去最高を記録した令和元年度と比較すると10.8%の減となりました。また、通学定期については、「美乃浜学園」の開校により、児童生徒の7割にあたる約380人が湊線通学となったことから、31万9,236人となり、前年に比べ18万8,882人、144.9%増加しました。定期外旅客は、5月、8月に新型コロナ感染症の感染者数が急増したことにより、国営ひたち海浜公園やアクアワールド大洗等の集客施設の閉園、閉館されるとともに、ロックインジャパン等の大規模イベントが開催中止となり、人の移動が制限されたものの、前年に比べ33.5%増の13万9,122人の利用がありました。令和元年度と比較すると、12万6,369人、47.6%の減となりました。

この結果、定期、定期外を合わせた上期の輸送人員は、前年に比べ68.6%増の55万5,326人となりましたが、令和元年度と比較すると、4.3%、2万4,807人の減となりました。

（営業収支及び経常損益）

営業収入については、旅客運輸収入は通学定期及び定期外運賃収入の大きな伸びにより、34.1%増の8,073万2千円となり、運輸雑収を加えた営業収益は、1億808万9千円で、前年度に比べ1,883万1千円、21.1%増加しましたが、令和元年度と比較すると、3,865万2千円の減収となりました。

一方営業費については、感染拡大が続く中、公共交通としての鉄道事業を継続したことにより、安全運行のための整備費用など固定経費の支出に加え、前年は実施を見送った海浜公園へのシャトルバス運行費用や燃油の高騰による内燃動力費の増加により、前年に比べ8.5%増の1億2,881万9千円となりました。

この結果、営業外収益・費用を加えた経常損益は、2,062万4千円の赤字となりましたが、前年と比較すると864万9千円改善しました。

2. 輸送人員

(単位：人)

区 分	定期旅客			定期外旅客	合 計
	通勤定期	通学定期	定期計		
元年度上期 a	108,722	205,920	314,642	265,491	580,133
2年度上期 b	94,896	130,354	225,250	104,210	329,460
3年度上期 c	96,968	319,236	416,204	139,122	555,326
対前年比 c/b	102.2%	244.9%	184.8%	133.5%	168.6%
対前々年比 c/a	89.2%	155.0%	132.3%	52.4%	95.7%

3. 営業収支・経常損益

(単位：千円)

区 分	定期旅客			定期外旅客	旅客運輸 収入合計	運輸雑収	営業収益 合 計
	通勤定期	通学定期	定期計				
元年度上期 a	18,205	25,380	43,585	71,804	115,389	31,351	146,740
2年度上期 b	16,349	15,826	32,175	28,035	60,210	29,048	89,258
3年度上期 c	16,034	26,730	42,764	37,968	80,732	27,356	108,089
対前年比 c/b	98.1%	168.9%	132.9%	135.4%	134.1%	94.2%	121.1%
対前々年比 c/a	88.1%	105.3%	98.1%	52.9%	70.0%	87.3%	73.7%

区 分	営業費	営業損益	経常損益
元年度上期	144,102	2,639	3,007
2年度上期	118,708	▲29,450	▲29,273
3年度上期	128,819	▲20,730	▲20,624

お問い合わせ先 …… ひたちなか海浜鉄道 吉田、中山、大重
電話 029-262-2361